

経営比較分析表（令和4年度決算）

岡山県倉敷市 倉敷市立市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員 民間企業出身 その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	22	対象	ド 訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
477,799	14,117	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
198	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	198
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
177	-	177

■ 当該病院値（当該値） — 類似病院平均値（平均値） 【】 令和4年度全国平均
--

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

採算性を求めることが困難である救急医療、周産期医療、小児医療を提供し、市民の健康保持や福祉の増進を図るとともに、予防医療の充実や地域の医療機関や施設と連携し、地域包括ケアを推進するなど、地域の中核病院として地域医療を確保します。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、医業収支比率ともに前年度より改善しました。主な理由としては、入院患者数や他会計負担金の減少などにより医業収益が減少したものの、新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金などにより医業外収益が増加したことと、給与費、材料費などの費用が減少したことによるものです。

また、患者1人1日当たり収益は、入院患者、外来患者ともに前年度を上回りました。入院患者については、類似病院の平均値を上回ったものの、外来患者は下回っているため、医療の質を向上して1人当たりの収益を高める必要があります。

病床利用率については、前年度を下回り、類似病院の平均値も下回りました。

2. 老朽化の状況について

病院の建替え、医療機器の更新を行い平成30年4月に新病院を開院したことから、有形固定資産減価償却率は31.8%と類似病院の平均値を下回っています。

一方、器械備品減価償却率では、81.3%となり、類似病院の平均値を上回っていることから、計画的に医療器械備品の更新を行っていく必要があります。

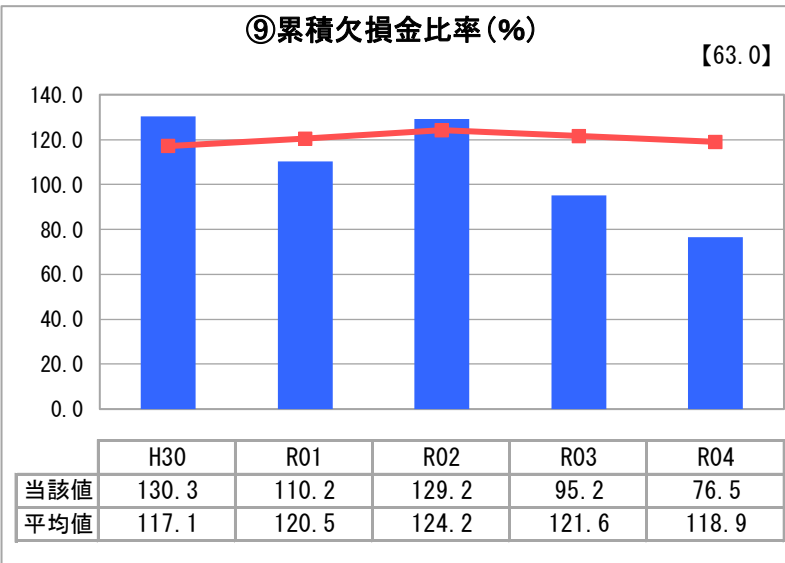
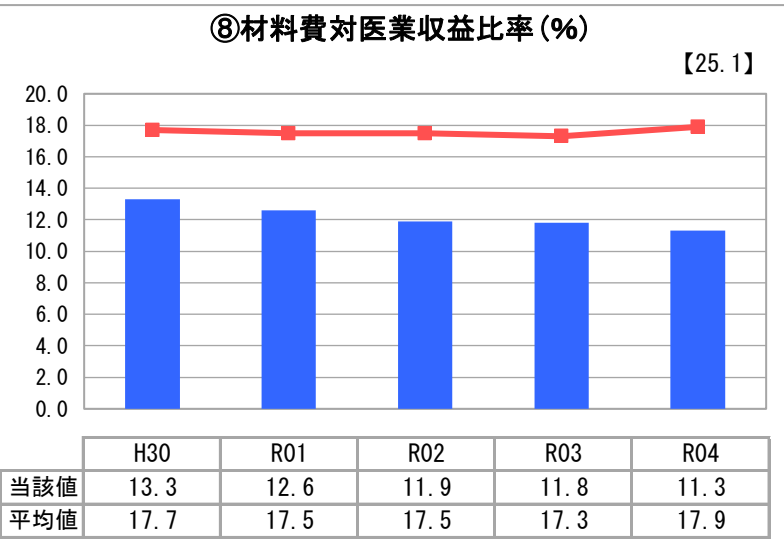
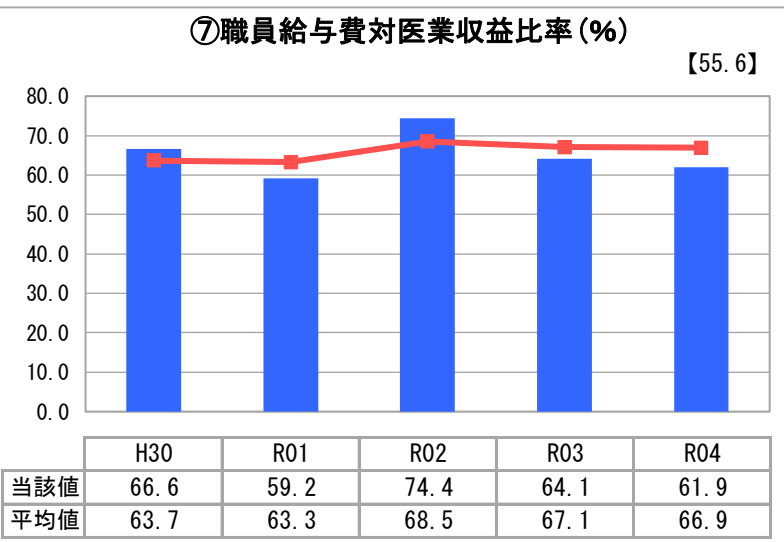
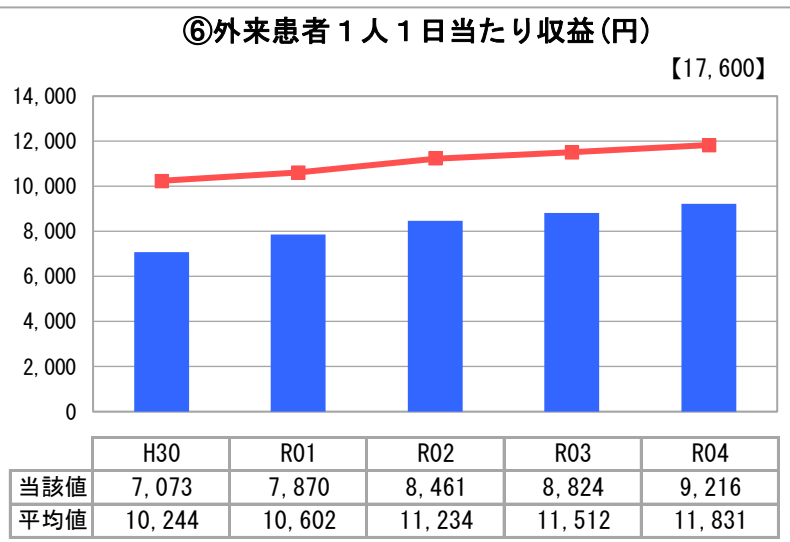
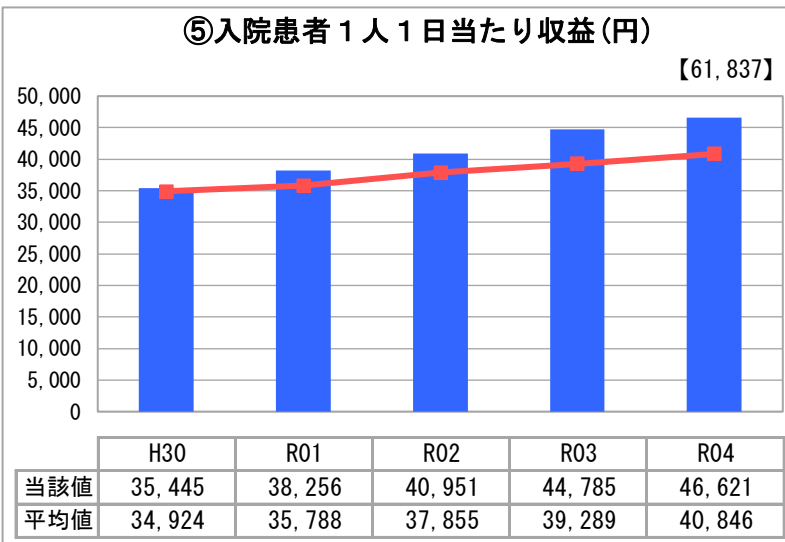
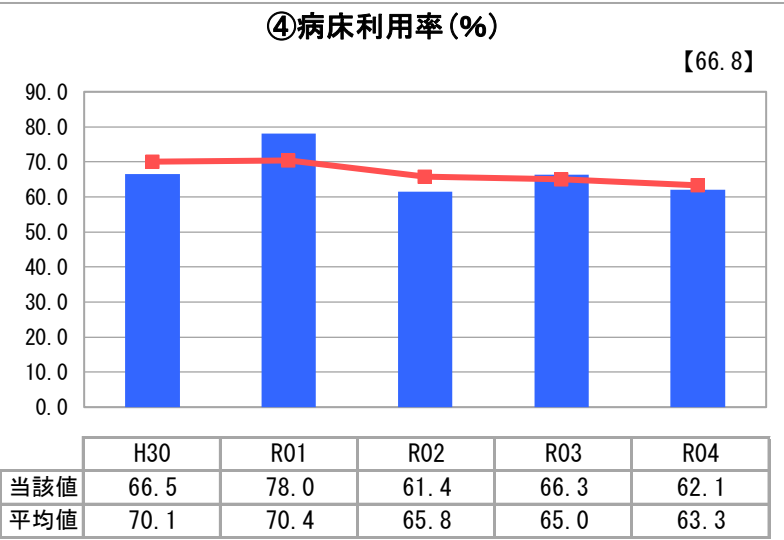
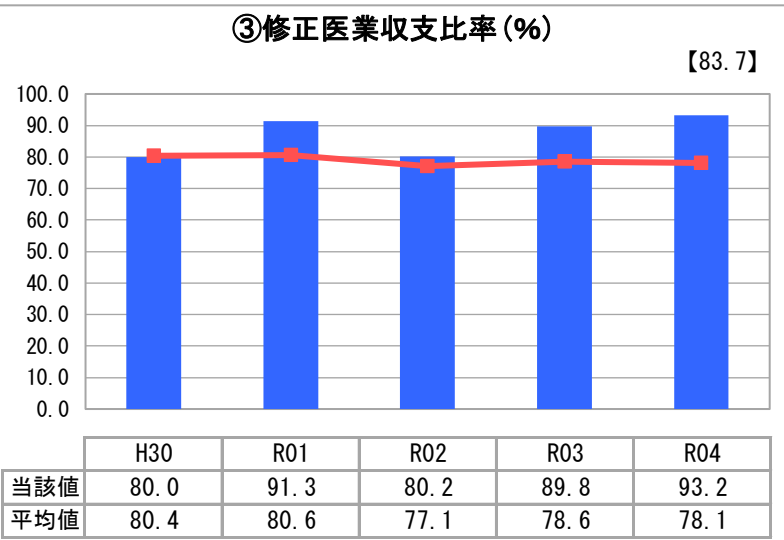
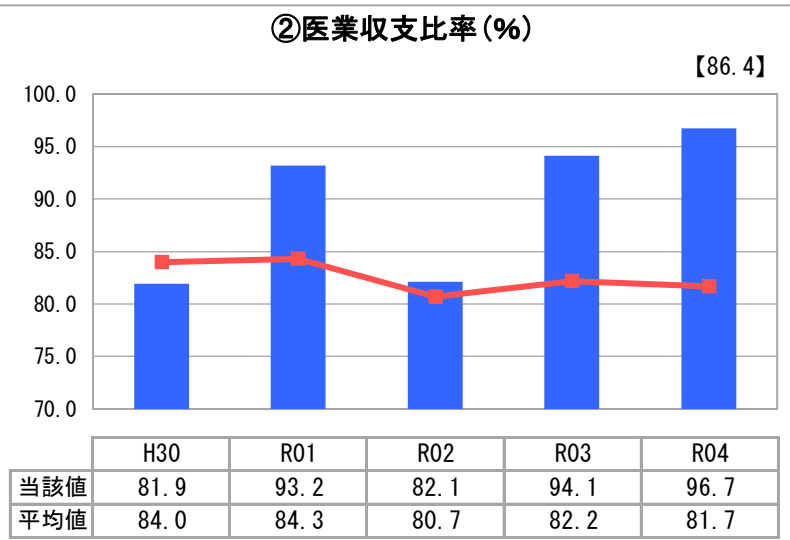
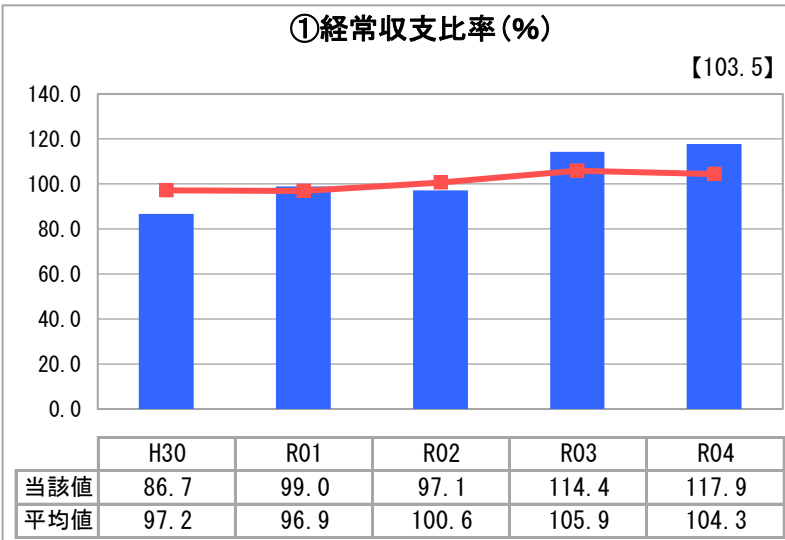
全体総括

経常収支比率、医業収支比率は前年度より改善し、類似病院の平均値も上回りましたが、今後も減価償却費の計上や新病院の建設に伴う企業債の償還等により厳しい収支状況が続くものと思われま

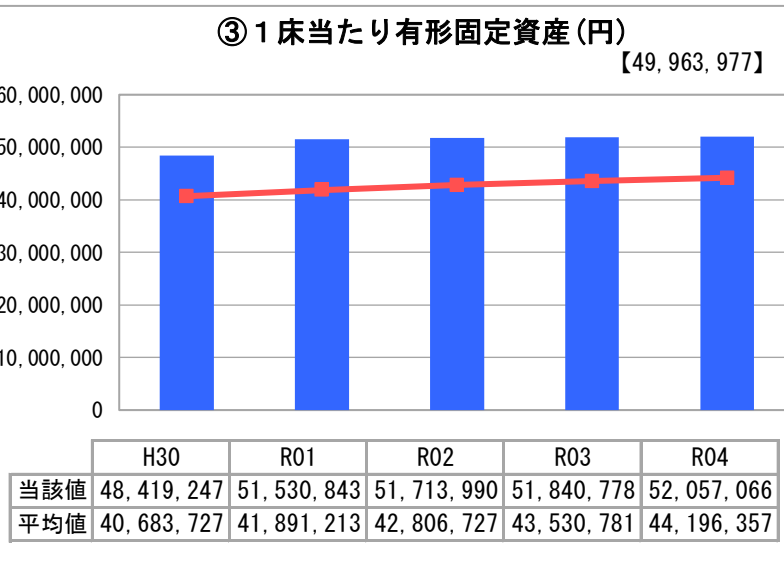
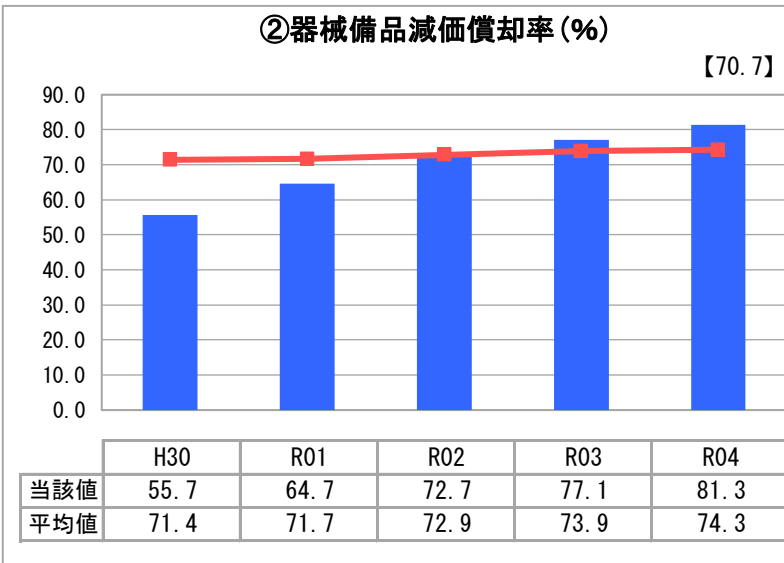
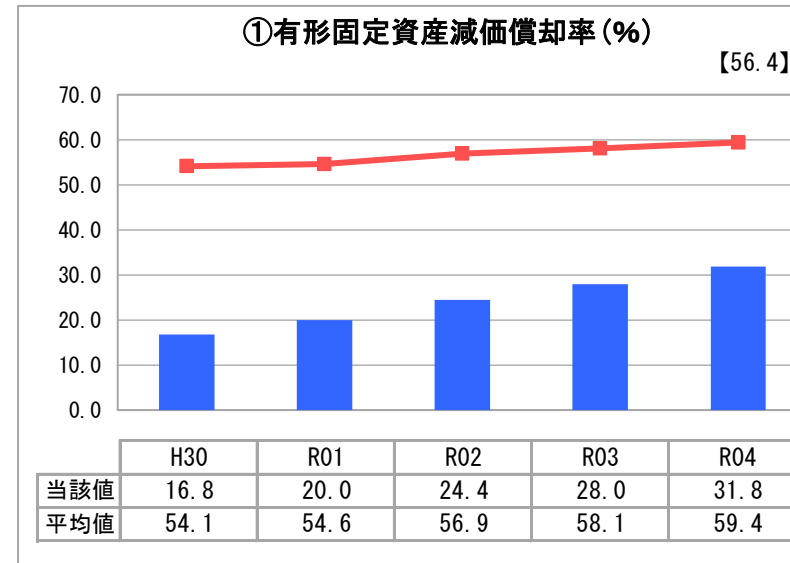
す。このため、引き続き支出削減による経営の効率化に取り組むことはもちろんのこと、病床利用率の向上に向けて、救急搬送受け入れ体制の充実を図るとともに、地域の医療機関との連携を強化し紹介患者の増加に努めてまいります。

また、施設基準の積極的な取得やDPCコーディングの適正化による診療単価の向上に努め、収益の拡大を図ってまいります。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。